



花巣蜂

は ち す は な

令和6年11月28日 第8号
新潟市立赤塚中学校
 全校生徒146名 男子77名 女子69名
 TEL 025-239-2029 FAX 025-239-3313
 E-mail j703akatsuka@city-niigata.ed.jp

～将来の地域を担う子どもの育成に向けて～

11月8日、木山小学校を会場に「第3回学校運営協議会（小中合同会）」が行われました。協議会では、各学校の前期学校評価の結果を受けて、保護者・地域・教職員が一緒になって4人ずつのグループを編成し、子どもに身につけさせたい「資質・能力」について話し合いました。

その際、出されたキーワードとして、「主体性」「自己肯定感」「プラス思考」「意志・自覚」「自律」「仲間を尊重」「傾聴」等があります。これらは、テスト等では測ることのできない力、いわゆる「非認知能力」といことができます。ちなみに学力などテストで測ることができる力は、「認知能力」といいます。



「非認知能力」は、「自己に関わる心の力」（自尊心、忍耐力、動機付け、自己効力感、達成目標など）と「社会性に関わる心の力」（共感性、向社会性、感情知性など）とに分けられ、「最後までやり抜く力」や「コミュニケーション力」も「非認知能力」といえるようです。^{*1}また、経済協力開発機構（OECD）が提案している3つの力に合わせて、「目標を達成する力」「自分に向き合う力」「他人とつき合う力」と分類する研究者もいます。^{*2}いずれにせよ、「非認知能力」は、今大注目の「資質・能力」といえます。

では、なぜ「非認知能力」が注目されているのでしょうか。それは、この能力が将来の社会的地位や収入にも直結することが分かっているからです。ノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・J・ハックマン教授は低所得の家庭を対象に、「非認知能力」を高めるための教育を受けた子どもたちと、そうでない子どもたちを追跡調査した結果、40年後には歴然とした差が出たことを報告しています。前者のグループは、成人後に社会的成功を収めた率が圧倒的に高かったのです。世帯間格差が問題視され、親の収入が子どもの学力と比例すると考えられてきましたが、ハックマン教授の研究結果は、別の可能性を示唆したのです。親の収入ではなく、親や教師などの子どもに対する関わり方こそ大きな影響があるとされたのです。つまり、「非認知能力」を高めることができれば、収入の格差という子どもにはどうしようもできない壁を乗り越えることができるということになります。

あるグループでは、「子どもを否定しない」「子どものよい面を認める」「結果ではなく、プロセス（過程）を認める」「子どもが自信をつける機会を増やす（そのために周りの人からの協力を得る）」ことで、子どもの「主体性」を伸ばすことができるのではないかと意見が出ていました。加えて、「子どもの話を聞いてあげる」「子どもに共感する」「子どもとのふれ合いを積極的に行う」「子どもの行動を強制しない」ことで、「非認知能力」を高めることも言われています。つまり、「子どもに愛情をかけることが大切」ということではないでしょうか。これらのことは、家庭や地域、学校で簡単に実践できることです。また、子どもの将来に直結するかもしれないとなれば、すぐに実践したいところです。

協議会の終末に、他グループでの話し合いの内容を共有したところ、木山小学校の『木山っ子のいいトコロ教えて』の取組は、地域・保護者を巻き込んで、子どもの自己肯定感を高めることにつながるという意見が、赤塚中教職員や保護者等から出ています。今後、学校行事や参観等に来校された方々から、『赤中生のいいトコロ』を伺いたいと考えています。ご理解・ご協力、よろしくお願いいたします。

参考文献 *1 「校則なくした中学校 たったひとつの校長ルール」（西郷孝彦著：小学館）
 *2 「10代の脳とうまくつきあう」（森口佑介著：ちくまプリマー新書）



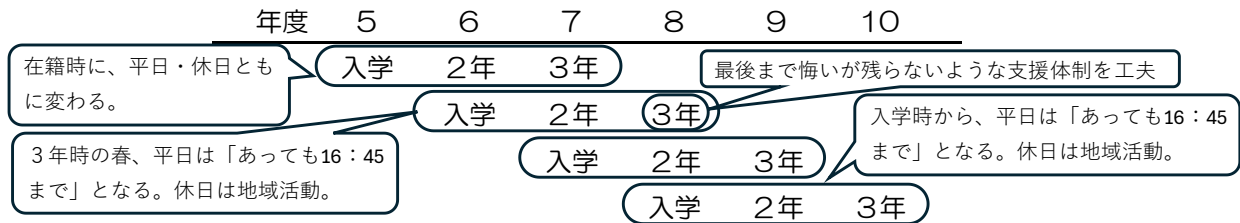
～新潟市の中学生のための地域運動活動・文化活動の充実に伴って～
新潟市立中学校の部活動の在り方が変わります



新潟市では、令和8年4月から、

- ①平日の部活動を行う場合は、原則、教職員の勤務時間内（概ね 16:45 まで）での実施となります。
- ②休日の部活動は実施しません。

令和5～8年度の新入生の参加イメージ



「学校部活動」から「新潟市の中学生のための地域運動活動・文化活動」へ
 令和8年4月 グッドスタート

グッドスタート準備期間（令和6～7年度）

- 部活動は実施可能 … 段階的に部活動の活動日や活動時間を縮小します。（学校により異なる）
- 地域運動活動・文化活動の団体リストを作成 … 新潟市では、地域運動活動・文化活動の団体リストを作成し、生徒や保護者が学校やホームページなどで分かるようにしていく方針です。
- 自校モデル等の構築 … 学校による「地域運動活動・文化活動への移行」については、引き続き検討し、準備を進めることもできます。



グッドスタート以降（令和8年度～）

- 休日の部活動は実施しません。
- 平日の部活動は継続可能 … 部活動を実施する場合は、教職員の勤務時間内（概ね 16:45 まで）で行います。平日も部活動を実施しない学校が想定されます。
- 「やりたい」活動の充実 … 専門家から指導を受ける機会が増えます。学校以外の生徒との交流、地域の様々な年代や立場の方との交流が増えます。生徒の心身の豊かな成長や地域の活性化につながります。

1 赤塚中学校における部活動の運営及び中学生のための地域運動活動・文化活動についての考え方

- ① 部活動に対する生徒や保護者のニーズの多様化に対応するとともに、地域運動活動・文化活動への移行に向けた活動の在り方を、生徒や保護者、外部指導者、教職員等で方向性を共有します。
- ② 令和8年度からの中学生のための地域運動活動・文化活動を円滑に実施するため、学校としての見通しをもって進めます。（教育委員会の計画と近隣他校の地域運動活動・文化活動の進捗状況を確認しながら、無駄なく無理のない活動としていきます）

2 赤塚中学校における中学生のための地域運動活動・文化活動、及び部活動の運営についての見直し

- ① 実施主体の立ち上げ（当面は学校単独として）
 - 1）現在の部活動について、学校は管理・運営はしないが、保護者等による実施主体の立ち上げを検討していただきます。（男・女バスケットボール、軟式野球はすでに立ち上がっています）
 - 2）地域運動活動・文化活動の運営・指導は、地域の指導者と保護者等に行っていただくことからスタートします。教職員は、原則として運営・指導には当たりません。

- 3) 新潟市内、西区・隣接区における地域運動活動・文化活動に向けた進捗状況を、生徒や保護者のみなさまにお伝えし、情報共有に努めていきます。
- 4) 各部活動の保護者等による実施主体の立ち上げについて、保護者のみなさまと協議してまいります。その際、教育委員会から指導者リスト等の情報提供を受ける等、情報収集に努めます。
- 5) 中学生のための地域運動活動・文化活動としての活動は行わず、学校の部活動としての活動を希望する生徒に対して、縮小した時間内で可能な指導・支援の在り方を検討してまいります。

②活動時間の移行について

年度	令和7年度		令和8年度
期	夏季（4月～前期末）	冬季（後期初～3月）	夏季・冬季共通
活動時間	5限 16：35 活動終了 16：45 完全退校 6限 17：05 活動終了 17：15 完全退校	全日 16：35 活動終了 16：45 完全退校	全日 16：35 活動終了 16：45 完全退校
備考	休日の活動は各部の計画により実施します。 ただし、日曜日は原則休止日とします。		休日の活動は実施しません。

③中学生のための地域運動活動・文化活動の活動・運営の例 ※教育活動終了は参考時刻

A：部活動のみ実施する。

15：45	16：45	19：00
教育活動	部活動	

B：部活動に引き続き、保護者等が実施主体となる地域運動活動・文化活動を実施する。

15：45	16：45	19：00
教育活動	部活動	地域運動活動・文化活動

C：部活動は実施せず、地域運動活動・文化活動を実施（学校施設を開放）する。

15：45	16：45	19：00
教育活動	地域運動活動・文化活動	

D：生徒は帰宅、または生徒会活動等の特別活動ののち、地域運動活動・文化活動を実施する。

15：45	16：45	17：00頃	19：00
教育活動	帰宅・特別活動等		地域運動活動・文化活動

④上記B、又はC（一部の日はD）となった場合の具体的な活動・運営の例

例1）部活動として週2日（火・木）活動し、地域運動活動・文化活動も実施する。

15：45頃	16：45	19：00	
月	教育活動		
火	教育活動	部活動	地域運動活動・文化活動
水	教育活動	地域運動活動・文化活動	
木	教育活動	部活動	地域運動活動・文化活動
金	教育活動		
土	地域運動活動・文化活動		保護者の見守り＋指導者
	9：00	11：30	



例2）部活動として活動せず、地域運動活動・文化活動を週4日（火・水・木・土）実施する。

15：45頃	16：45	19：00	
月	教育活動		
火	教育活動	（委員会活動等）	地域運動活動・文化活動
水	教育活動	地域運動活動・文化活動	
木	教育活動		地域運動活動・文化活動
金	教育活動		
土	地域運動活動・文化活動		保護者の見守り＋指導者
	9：00	11：30	

新生徒会役員が決定しました!!

11月22日(金)に『令和7年度 赤塚中学校 生徒会役員選挙』が行われました。投票の結果、立候補したすべての生徒が、全校生徒からの信任を受け新生徒会役員に選出されました。

現生徒会役員からの引継ぎをしっかりと行い、掲げた公約をもとによりよい赤塚中学校を築いていくことを期待しています。任期を終える役員の方皆さん、1年間本当にお疲れ様でした。



生徒会長 安澤 遼 さん

私は、生徒全員が全力になれる赤中をつくっていきたいです。そのために、まずは生徒会が普段の活動を全力で行い、全校生徒に生徒会としての姿勢を示し、全校生徒のお手本になれるようにしていきます。

また、生徒が積極的に意見を発信できるよう、今まで以上に意見箱を活用し、より多くの生徒の意見を聞けるようにしたいです。そして、集まった意見を放送などを通し、全校に発信していきたいです。

これらの活動を通し、生徒が全力になれる学校をつくり、この1年を全校生徒にとって最高なものにしていきます。よろしくお願いします。

生徒会副会長 渡邊 隼 さん

僕が副会長になって頑張りたいことは、2つあります。1つ目は、自分の仕事をしっかりやり、よい学校にすることです。大人になって仕事を任せられたとき、しっかりやり遂げることを今から身につけ、信頼を少しずつ得られるようにしたいです。

2つ目は、人の気持ちを尊重できるようになることです。このことを達成できるように、人の考えをよく聞き、尊重できるように頑張っていきたいです。

僕は、以上の2つのことを意識してスローガンを達成できるようにしたいと思います。よろしくお願いします。

生徒会副会長 沼倉あかり さん

私は、生徒一人一人が自分らしさを発揮し、それぞれの個性や能力を活かせる学校にしていきたいと思っています。そのために、意見箱の活用を進め、赤中の現状について全校にアンケートを行うことで、全校の皆さんの意見や要望を明確にし、反映させていきたいです。また、学び合い、高め合いにつなげるために、他学年と交流する場を設けたり、全校で取り組める企画を考えたりして、生徒同士の関わりやつながりを深めていきたいです。そして、副会長として自覚と責任のある行動を心掛けていきます。より良い赤中を目指し率先して活動していくので、よろしくお願いします。

応援団長 坂井 駿希 さん

私は、侍ジャパン敗戦という絶望の中、この原稿を執筆しています。ところで、この原稿を執筆しながら、応援団長に全校の皆さんから信任してもらったんだという責任感が増してきました。時間の流れは常に同じなはずなのですが、演説中と今では、まったく違うように感じられます。

しかし、今日の日本応援団は、負けていても常に声を出して盛り上げ続けていました。さらに、10時になるとルールを守り、鳴り物をやめて手拍子のみ。そのため、負けてはしまいましたが、いいゲームだと感じる事ができました。私もこのように、常に盛り上げ、ルールを守る団長になりたいです。最後に一言、「頑張るあなたを応援します!!」

『短歌づくり講座 in 赤塚中学校』

11月15日、東京学館高等学校 田村 裕先生を講師に全校生徒で短歌づくりに挑戦しました。田村先生から、抽象的なイメージをカメラのレンズのようにピントを合わせるために、色・音・五感を使うことを指導していただきました。また、「目標への準備を始めるのは今、努力した分、幸せになれる」とのメッセージもいただきました。

『水辺の音楽会』

11月26日、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館で「水辺の音楽会」が開催され、音楽部が参加しました。宮浦中学校、鳥屋野中学校との合同演奏で、NHK 全国学校音楽コンクールの課題曲“僕らはいきものだから”、カーペンターズのナンバーから“Sing”、映画『オズの魔法使い』の挿入歌“Over the Rainbow”の合唱を披露しました。

12月の主な予定

12/2(月)	短縮時程 保護者懇談会・作品展①	12/13(金)	PTA 理事会
3(火)	生徒朝会 短縮時程 保護者懇談会・作品展②	15(日)	西区 PTA 連合会研究大会 (国際情報大)
4(水)	短縮時程 保護者懇談会・作品展③	16(月)	SSP (6限)
5(木)	短縮時程 保護者懇談会・作品展④	17(火)	フッ素洗口 アフタースクール (数)
6(金)	短縮時程 保護者懇談会・作品展⑤	18(水)	アフタースクール (英)
9(月)	学級審議 (5限)	19(木)	球技大会 (午後)
10(火)	フッ素洗口 アフタースクール (数)	23(月)	授業終了日 特別時程 全校集会 (5限)
11(水)	専門委員会 清掃なし	24(火)	冬季休業開始
12(木)	ALT アフタースクール (英) ｽｰﾊﾟｰﾏｰｸﾞ来校日	27(金)	学校閉庁日

